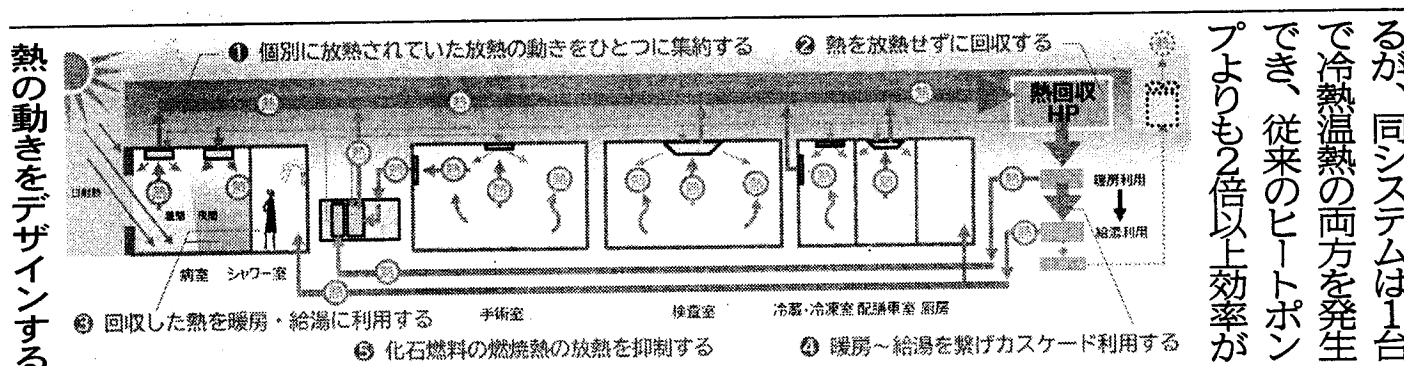


の会長賞を受賞した。同システムは院内に備えるものの、日本ファシリテイ・ソリューション社が所有・管理し、病院がそこからエネルギーの供給を受けている。導入に向けて、同社と連携して久米設計がシステムを前提とした建物を設計した。また東海大と釜浦工

大が最適な空調を実現するため、病院のデータを分析して、最適なチューニングを行った。システムでは熱を作る熱源機の中に熱回収ヒートポンプを採用している。従来は吸収冷温水器や温水ボイラーでガスを燃焼させて、冷水、温水をそれぞれ別に発生させていたが、同システムは1台で冷熱温熱の両方を発生でき、従来のヒートポンプよりも2倍以上効率が

長時代に旭医大病院や砂川市立病院などと連携し総合診療専門研修プログラムを構築。地域医療を担う医師教育に対応する。家族の負担軽減を目的としたメディカルシヨートステイや、病気の悩みに専門スタッフが応じる「医療相談サロン・がん相談室」の開設など、活用しやすい病院を掲げる。「あくまで根幹にあるのは地元本位。今以上に市民との距離を近づけられるように、外に向けての情報発信をしていきたい」。



熱の動きをデザインする

の保管のための温熱や、薬品等のための冷熱を常に必要としていることがら、同システムとの相性がいいという。

現在、システムだけで病院が使用する熱量の半分以上を担っている。熱源、温度、水の量など稼働状況は同社の東京本社でも常時監視しており、

### 疾病発症リスク検査 道内初実施

白石区の恵佑会第2病院（高橋宏明理事長・135床）は、少量の採血で認知症や心筋梗塞、脳卒中、肺がんなどの発症リスクを予測するフォーンスピリチュアス検査を、道内の医療機関として初導入。現在まで50人ほどが実施しており、渡邊美樹事務部長は「人間ドックや検診の受診につなげていきたい」としている。

同検査は病院が採取した血液を、米国の民間企業が複合的に解析。血中内の約7千種類のタンパク質をビッグデータ解析技術により分析し、20年以内の認知症や4年以内の心筋梗塞・脳卒中、5年以内の肺がんの発症リスクを判定する。検査後には結果報告書

2次医療圏	南渡島	南松山	北渡島	札幌	後志	南空	中空	北空	西胆	東胆	日高	上川中	上川北	富良	留萌	宗谷	北緯	遠軽	十勝	釧路	根室	計
-------	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	---

1件増の274件 救急告示4月 道がまとめた1日付の救急告示医療機関状況によると、告示施設数は前

病院としては、遠心分離機が備わっていれば新たな機器の導入がなく、検査結果をもとに人間ドックや検診の受診につなげていけるメリットもある。渡邊事務部長は「今後

将来の疾患予測	結果
4年以内の心筋梗塞・脳卒中発症リスク【タイプ1】	4% 発症リスク倍率 2~3倍 4年以内の発症率が2.5%以下の対象者と比較した倍率を示したものです。
5年以内の肺がん発症リスク	0.9% 発症リスク倍率 1.00倍 対象者における平均と比較した倍率を示したものです。
20年以内の認知症発症リスク	24% 発症リスク倍率 1.60倍 対象者における平均と比較した倍率を示したものです。

検査後に出される結果報告書（一部）

札幌共立五輪橋 CTを256列に更新 南区の札幌共立五輪橋病院（本間久登理事長、土居忠院長・188床）は、64列CTを256列CTに更新した。新機種は、1回のエックス線照射時間が最短0.28秒と早く、また撮影できる範囲が16cmと広いため、体幹部は3~4秒、頭部は1~2秒で撮影できる。 ガーネット検出器の採用で、従来製品の2.5倍の高密度データサンプリングができ、血管の3D画像作成等について

## 医療新聞

# 第2期循環器病対策推進基本計画